

中学校国語科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	「2年1組のお薦め35冊 読書案内を作ろう」実技研修	
日時	平成29年2月17日(金)	
会場	恵庭市立恵明中学校図書室	
講師	七宮 義通 氏 (恵庭市立恵明中学校 教諭)	
参加者	12名	
研修会 の 様子		<p>本教材の単元の目標は「本に関する情報を多様な方法でまとめ、自分の考えをまとめる」というもの。この目標を達成させるための言語活動を、『「文庫X」を作って、図書室に展示してもらおう』というものに変えて取り組む、という設定で、先生方にも作っていただきました。</p>
		<p>本の表紙には「お薦めの一言」、裏表紙には「この本の情報」を書き込みます。ただし本のタイトルと作者名は書いてはいけません。その方が手に取ったとき、「いったいどんな本なのか」と、クイズのように興味をそられるためです。先生方も今回はお手持ちのスマホを活用し、本の情報を集めながら「文庫X」を作っていました。</p>
		<p>できあがった「文庫X」。完成したら輪ゴムで止めて、中が簡単に開かないようにします。 ちょっとしたPOPのような雰囲気にもなっています。作成時間は30分～50分ほど。中学生でも、調べ時間を含めて2時間で作成可能だということが、先生方の共通意見でした。</p>
		<p>それぞれ出来上がった「文庫X」を並べて、交流しました。先生方は本を手にとっては、クイズのように「あの作品かなあ」「〇〇先生なら、きっとあの人の作品だよな」などと予想をしながら中を見ていました。その後、恵明中の図書館司書さんにお願ひし、「ベストX」を決定していただきました。</p>
		<p>最後に出来上がった作品を手先生方で記念撮影。『「文庫X」という、目にするまでわからないドキドキ感がいい』や「ぜひこのまま3月に授業をしてみたい」など、先生方からも御好評をいただきました。</p>